

進路指導部だより

令和5年度

第6号

新しい年を迎え、1か月が過ぎようとしています。早いもので、今年度も残すところあと2か月となりました。保護者の皆様には、日々の教育活動や校内外の活動等において、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。今後も、保護者の皆様や関係各所との連絡や情報のやり取りを大切にしながら、進路に関する活動を進めていきたいと思っております。進路に関する事で疑問等がありましたら、担任を通してお知らせください。

さて、今回は、本校の肢体不自由教育部門（B部門）中学部における取り組みをご紹介します。自立や社会参加を目指すためには、豊かな人間関係や社会性を育むことがとても大切です。日々の生活を送る上での健康な体づくり、日常生活の管理など、どのようなことが将来の進路につながっていくのか、考えるきっかけにしていただければと思います。

各学年の取り組み

中1

総合的な学習の時間に、余暇活動について調べ、その活動を行うためにはどのような公共交通機関を利用すればよいか、自分たちで調べました。

普段は家族に連れて行ってもらう場所でも、自分で行くにはどうしたらいいか考えて、頑張っ発表の練習をしています。



中2

総合的な学習の時間に、「立志式」について学習しています。昔の武士は14才くらいの年齢で「元服」という行事を行い、大人への仲間入りをしました。中学2年生として、門出となる年齢になり、現在まで元気に成長できたことに感謝し、将来目指す自分の目標に向かって進んでいこうと、立志式の準備を頑張っています。



中3

高等部の校内実習を見学しました。実際に高等部の実習の様子を見学し、先輩たちが頑張っている様子を間近に見ることで、卒業後を意識し、将来の目指す姿に向かって頑張ろうとする気持ちを高めることができました。

実際に使用している教材も触ったり、匂いをかいだりして五感で感じる事ができました。



各課程での取り組み



【Ⅰ課程 職場見学】 「職業について考えよう」～職場見学を通して～

- ・見学を通して働くことの喜びや厳しさを知り、働くことの大切さや責任感に気付く。
- ・働く人の様子や関心のある職場を見学し、職業や自己の適性について考える手がかりとする。
- ・実際の職場を見学することで、挨拶や言葉遣い等のマナーや社会性を体験的に学ぶ。



1年生は幸和義肢研究所を見学、2・3年生はつくば市役所で職場体験をしました。実際に働く人にインタビューしながら、働くためのスキルや今の自分に必要なことについて情報収集をすることで、将来働くことへの意欲を高めることができました。Ⅰ課程では、各教科のほか、分からないことや困ったことがあったら質問したり依頼したりするなど、周囲の人と自分から必要なコミュニケーションをとることを目標としています。



また、「自分でできることは自分で行う」ことを意識して、将来必要となる力についても日々の学校生活の中で高めていけるようにしています。

【Ⅱ課程 生活単元学習】 「働くことについて考えよう」～事業所見学を通して～

- ・どんな仕事をしているのかを見学し、いろいろな仕事について知る。
- ・施設で働く人の様子を見ることで、働くために必要なきまりや力について学ぶ。
- ・集団行動でのマナーを守って見学する。



LOFT つくばトナリ工店を見学しました。実際に働く人の様子を見たり、インタビューをしたりして、仕事に向かう姿勢や仕事を行う上で大切なことを学ぶことができました。

そして、生活単元学習では作業学習と関連して「作業（仕事）をする上で必要なコミュニケーションの取り方」などについても学習しています。それぞれの学習を関連させながら理解を深め、将来必要な力を身に付けることができるようにしています。



【Ⅲ課程 自立活動】 「見る・聴く」～くまさんのあたらしいカーテン～

- ・物語を見たり聴いたりする。
- ・見る際には、補助教材を活用する。
- ・物語の内容に沿った疑似体験をする。
- ・音や声を聴いて、声や表情などで気持ちを表出する。



物語を聴いてから、お話の世界を疑似体験するために、カーテンを開けて中を確認したり、ライトを動かして光の動きを見たりしました。自分なりの方法で、気持ちを表出することができました。

Ⅲ課程の授業では、いろいろな物に触れたり、音を聞いたりする活動の中で好き・楽しい・苦手などの気持ちを様々な方法で表現し、周囲の人に伝えていく活動に取り組んでいます。これらの活動は車いすでの座位の姿勢だけでなく、それぞれが取り組みやすい姿勢で行うこともあります。また、ふれあい体操や歩行など、健康面を目標とした活動にも取り組んでいます。



